

17 旭が丘地域まちづくり協議会



▲旭が丘地区まちづくり協議会 役員の皆さん

(愛称)旭まち協では・・・

小中学校を中心に、生活面で必要な施設が充実している旭が丘地区には、若い世代から高齢者まで約13,000人が住んでいます。

地域住民が安心して快適に暮らせ、次世代まで住みよいまちづくりを目指し、住民アンケート結果を踏まえて作成した『まちづくり計画』に基づき、役員や委員の皆さんが連携して取り組んでいます！



今回紹介するのはこの3つの事業！

旭まち協には、福祉や文化、安全などの各事業を効率的に進めるための総務・広報部、生活福祉部、文化スポーツ部、安全部の4つの「部会」があります。今回は、そのうち生活福祉部、文化スポーツ部、安全部に焦点を当て、取り組みの一部を紹介します！

1 文化スポーツ部会

取組①「クリーン旭が丘の企画・開催」

文化スポーツ部では、旭が丘小学校の土曜学習の一環として、毎年「クリーン旭が丘」と題し、地域一体で学校周辺の清掃活動を企画・開催しています。今年度は約170名が参加し、家族間や子ども達同士でごみの分別や、どこにごみが多くあるかコミュニケーションを図る等の、活発な交流が見られました。

取組のきっかけ

多世代との交流を活性化し、楽しみながら健康づくりをするだけでなく、町も綺麗にすることを目的としています。文化スポーツ部会では、この活動のほかに、スポーツ活動やウォーキング等も開催しています。



▲参加者との交流の様子

■参加した住民の方たちからは、...

町がピカピカになると気持ちがいいと思った！



お母さんと一緒にごみが拾えて楽しかった！



2 生活福祉部会

取組②「こどもの居場所づくり」



▲食事の様子

○旭が丘こども食堂「おひさま」
開催は2ヵ月に1度、小学校の各学年別にて定員20名ほどを対象に開催しています。運営スタッフには調理師、管理栄養士、元ヘルスマイト(食生活改善委員)を含めて13名程度が参加しており、アットホームな雰囲気運営を行っております。運営の仲間も募集しております。



取組のきっかけ
こどもたちが「楽しかったこと」や「悩んでいること」など、どんなことでも話ができる環境と安心して過ごせる居場所を提供したいと、以前より設置場所を探していましたが、今回、使われていない軒家をお借りすることが出来たため、他団体の活動を参考に様々な準備を進め、今年度より開設することができました。

共働き家庭のこどもの食事環境を案じ、多様な食材の味を伝えたいとの思いで始まったこども食堂。大家様のご厚意による借家の提供や、地域の食材支援、スタッフの尽力により形になってきました。設備面の課題はありますが、今後も地域と協力して活動をしていきます。

二回目の参加ですが、顔を覚えてくれて手を振ってもらえたのがうれしかったです。おひさまに来てもらいたい友達がいるので、また声をかけてみます！



運営スタッフ 別保さんの声



参加者の声



▲調理の様子

3 安全部会

取組③「旭が丘地区避難訓練」

南海トラフ地震が発生したと想定し、行政機関の協力を得て、公助と共助の連携を深めるために、安全部と旭が丘小学校避難所開設初動隊の共同開催で、旭が丘地区の避難訓練を企画しました。

課題を発見！
今回の避難訓練は、残念ながら雨天中止となりました。しかし、雨天にもかかわらず来場された方や雨であっても実施を望むお声をいただきました。雨天の場合であっても実施できるように段取りをしていく必要があるということが分かりました。

■今回の経験を通して、
雨天の場合に来場された方への対応や事前の準備、関係団体への協力依頼をする必要がある。また、雨天の場合は人数が少なくなってしまうので近隣のイベントと一緒に開催できるかどうか考えていきたい。



協議会会長



▲備蓄倉庫の資器材の確認を行う安全部委員